



ひゃくいんむげん

百輪無限

泊小だより7号

令和6年10月2日発行

文責：教頭

「縁を生かす」ある広報誌から・・・

校長 今泉 勝徳

先日、地域の方から、とある広報誌をいただきました。その中に掲載されていた、文章を読み、思わず涙した文があります。

この文章を読み、教師としてあり方を改めて考えさせられました。是非紹介したく、掲載します。

「縁を生かす」

その先生が五年生の担任になった時、一人、服装が不潔でだらしく、どうしても好きになれない少年がいた。

中間記録に先生は少年の悪いところばかり記入するようになっていた。

ある時、少年の一年生からの記録が目止まった。

「朗らかで、友達が好きで、人にも親切。勉強もよくでき、将来が楽しみ」とある。

「間違いだ。他の子の記録に間違いない。」先生はそう思った。

二年生になると、「母親が病気で世話をしなければならず、時々遅刻する」と書かれていた。

三年生では、「母親の病気が悪くなり、疲れでいて、教室で居眠りをする」

三年生の後半の記録には、「母親が死亡。希望を失い、悲しんでいる」とあり

四年生になると、「父親は生きる意欲を失い、アルコール依存症となり、子どもにも暴力を振るう」

先生の胸に激しい痛みが走った。

ダメと決めつけていた子が突然、深い悲しみを生き抜いている生身の人間として自分の前に立ち現れてきたのだ。

先生にとって目を開かれた瞬間であった。

放課後、先生は少年に声をかけた。

「先生は夕方まで教室で仕事をするから、あなたも勉強していかない？分からない所は教えてあげるから」少年は初めて笑顔を見せた。

それから毎日、少年は教室の自分の机で予習復習を熱心に続けた。授業で少年が初めて手を上げた時、先生に大きな喜びがわき起こった。少年は自信を持ち始めていた。

クリスマスの午後だった。

少年が小さな包みを先生の胸に押し付けてきた。後であけてみると、香水の瓶だった。

亡くなったお母さんが使っていたものに違いない。先生はその一滴をつけ、夕暮れに少年の家を訪ねた。

雑然とした部屋で一人本を読んでいた少年は、気がつくとも飛んできて、先生の胸に顔をつけて叫んだ。

「ああ、お母さんの匂い！きょうはなんてすてきなクリスマスだ」

六年生では先生は少年の担任ではなくなった。

卒業の時、少年から一枚のカードが届いた。

「先生は僕のお母さんのようです。そして、今まで出会った中で一番すばらしい先生でした」

そして六年。またカードが届いた。

「明日は高校の卒業式です。僕は五年生で先生に担当してもらって、とても幸せでした。おかげで奨学金をもらって医学部に進学することができます」

十年を経て、また、カードがきた。

そこには先生と出会えたことへの感謝と父親に叩かれた体験があるから患者の痛みの分かる医者になれると記され、こう締めくくられていた。

「僕はよく五年生の時の先生を思い出します。あのままだめになってしまう僕を救ってくださった先生を、神様のように感じます。大人になり、医者になった僕にとって最高の先生は、五年生の時に担任してくださった先生です。」

そして一年。届いたカードは結婚式の招待状だった。「母の席に座ってください」と行書き添えられていた。

「縁を生かす」そんな教師になればと思いつつながら、こんな生徒を育てたいと思いつつながら、30数年の教師人生が過ぎてしまいました。

いまだ出来ずにいる自分がいます。少しでも近づけるように・・・。

修学旅行無事帰校

9/5(木)～6(金)の1泊2日の修学旅行。天候にも恵まれ、予定通りの旅程を消化し、元気に帰ってきました。食の北海道で舌鼓を打ち、百万ドルの夜景に胸を打ち、異国情緒あふれる函館を堪能した子供たち。それぞれに最高の思い出が作れたようです。学校生活で身に付けたことを確認する旅。うまくいったことはそのままに、うまくいかなかったことは今後の学校生活に活かせるよう指導・支援していきます。



よい食習慣定着推進事業

教材園の「じゃがいも」や六ヶ所村特産の

「ごぼう」を使ってパーティーメニューを作ろ

う!!をテーマに、六ヶ所村保健相談センターの栄

養士「山崎由依」さんを講師に、手早く器用に調理する子供たちの皮むきをしていました。調理に舌鼓を打ちながら、終始なごやかに会食をしていました。体は食べたもので出来ています。地域の食材をもりもり食事にバランスの



引渡し訓練

9/27(金)の引き渡し訓練を実施しました。昨今、南海トラフ地震や熊出没により命を脅かす危険性が高まっています。いつ、どんな時にでも迅速に行動し、かけがえのない命を守るために、学校では避難訓練を大事にしています。また、学校と家庭と連携することで、未来に輝くお子さんの命を更にもっと守ることができます。お忙しい中での御協力ありがとうございました。



引渡し訓練後に行きました。

エアコン工事が本格化

9/24(火)から、エアコンの全面工事が始まりました。校舎が建設され20年。外観はきれいですが、生活に欠かせないトイレや温水器等に経年劣化が見られ、都度修理をしています。そしてついに、昨年度からエアコンの効きが悪くなり全面改修することになりました。工期は2ヶ年かかります。小学校が使用している南側校舎は来年度の予定です。温暖化の影響で、異常な暑さが続く昨今、熱中症が懸念されますが、教育委員会よりスポットエアコンを貸与していただきます。今年度の冬季はブルーヒーターで凌ぐこととなります。そこで、季節に応じた衣服の調節ができるよう指導しますが、各御家庭でも御配慮をお願いいたします。



室外機は3階を撤去し西側非常口に設置します。

いじめ防止教室

昨年度に引き続き、いじめについての学習を行いました。もういじめの定義については今更言わずとも知れたことですが、今一度確認いたします。いじめとは、「一定の人間関係の中で、他の子どもが行う、心理的又は物理的な影響を与える行為」のことです。加害者の意図に関わらず、被害者が「嫌だな」と感じたら、どんな些細なことでもいじめになります。そう考えると、誰にでも被害者や加害者になる可能性があります。いじめの無い学校づくりを目指し、個々の言動に気を付けさせていますが、時々、ご家庭でも友達と仲良く過ごしているか話し合ってみてください。



